

■日本を代表するフラワーアーティスト川崎景太が台湾にて

個展「HANA GRAPHIC ART -Two dimensional Art of Flowers-」を初開催

花の「一瞬の美」と「生命の輝き」のハーモニーを、日本の伝統工芸を取り入れて貴重な工芸アートとして表現

株式会社ケーション（東京都大田区山王 2-8-7）は、台湾の台北市にある新芳春茶行（Sin Hong Choon）にて、フラワーアーティストの川崎景太による台湾では初となる個展「HANA GRAPHIC ART -Two dimensional Art of Flowers-」を7月2日から7月13日（月曜、火曜は休館）まで開催いたします。

川崎 景太

HANA GRAPHIC ART

Two dimensional Art of Flowers

EXHIBITION

台湾 新芳春茶行

7.2(wed)-13(sun)

※7月7(一)、8(二)日休館日

10:00-18:00

ADMISSION FREE

新芳春茶行:103台湾台北市大同區民生西路309號

川崎 景太 花藝圖像藝術

只在這才能發現的獨特花卉世界

長久以來，攝影被廣泛用作保存花朵美麗的技術。然而，花藝師們都知道，當我們拍攝一朵美麗的花朵時，所呈現出的印象與肉眼所見往往截然不同。

當我們在二度空間中看到美麗的花卉排列，再將其重現於二度平面時，常常會發現，像是花朵的重疊、色彩的平衡與整體的構圖，都會失去原本的美感。

為克服這些攝影的弱點，出現了「花藝圖像藝術(Hana Graphic Art)」這項技術。它的做法是將構圖中的元素如點、線與色彩等項考慮，並在平面上重新構成花朵的色彩與形狀，就像繪製抽象畫一般，然後將這樣的構圖攝影下來，創造出超越照片的新作品。

這樣便能以永久保存的方式保留那「瞬間的美」。

我們該如何才能在平面上呈現花朵綻放時的真實美感，進而傳達給他人？

這個問題，在多年與花草打交道的經驗中，一直是我所帶帶思考的課題。如今，這樣的掙扎似乎終於有所成果，這正是我創作花藝圖像藝術的原因。這是一種能夠捕捉花朵生命鮮活與我心中那「瞬間的美」的方法，正因為那美麗稍縱即逝，才更顯可貴。

我們可以藉由以永久保存的方式包裝花朵來實現這一點，讓其超越時間，就如同抽象畫作一般，創造出一個前所未有的花卉世界。

這些作品在日本制作，能夠蘊藏永恆的美感——盡畫情懷，欣賞這花藝圖像藝術，觸動您的心靈。

花卉美與圖像藝術的詩意結合，花藝圖像藝術重新詮釋我們對自然瞬間靈魂的感知，感受與永恒化。

林詠能

文化創意產業經營學院教授 國立台北教育大學
政府文化設計 主持人 / 文化與文化科技專科 共同主持人

融合花卉之美與花藝圖像精準的詩意之作

Hana Graphic Art 重新詮釋我們對自然瞬息之美的感知、情感與永恒想像



花藝師
川崎 景太

出生於東京。

自加州藝術學院(即為加州藝術學院)畢業後，他迅速突破對花藝排列本質的既定共識，透過展示與媒體發表多種原創作品，成為當代花藝設計界的領導人物。

2006年至2013年，他擔任日本「真花藝術設計學校」的校長，致力於培育新一代花藝設計師，是日本花藝設計界的先驅。

2014年，為專注於藝術創作，他創立了個人品牌「Keita」。他的創作跨足建築、室內設計、建築等多領域，並提出「花藝文化」的新觀點，以花與植物的創作表達「生命與時間」的理念。

多年來，他一貫追求「植物是有生命的個體」，並以花藝創作表達「共存與同理」的訊息。他在當代藝術領域中建立了鮮明的風格，尤其擅長大膽裝置藝術，並製成多部出版作品，包括《花語 Hana wa kataru》。

KTION INC. 2-7-8,Sanno,Ota-ku,Tokyo,143-0023, japan. / info@ktion.cn.jp

<個展概要>

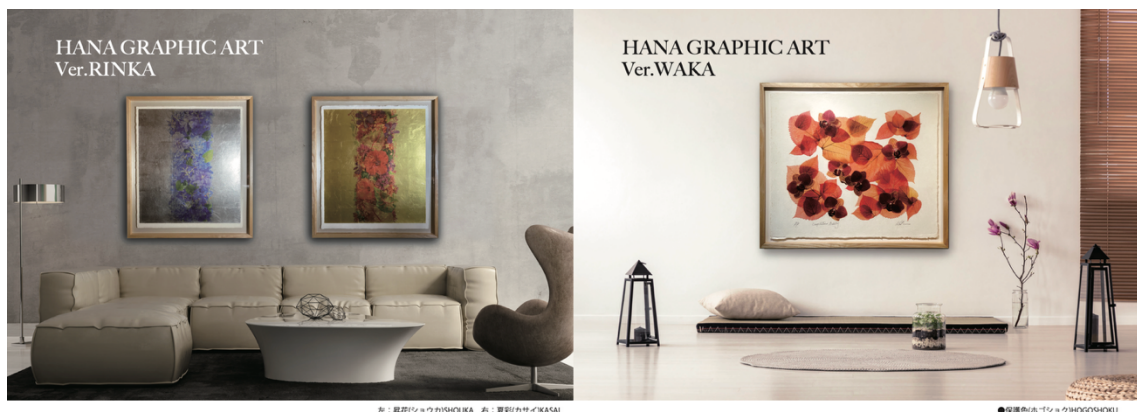
フラワーアーティストの川崎景太と台湾との繋がりは、フラワーデザインの先駆けであるマミフラワーデザインスクール（2006年から2013年まで主宰を務める）からスタートしました。35年にわたり台湾で花を通じて文化交流を行ってきた深い繋がりがあり、この度初めて川崎景太の個展を台湾にて開催する運びとなりました。開催期間中は、「HANA GRAPHIC ART」の数々の作品を展示すると共に、7月4日のレセプションでは、台湾メディアと関係者に向けて、川崎景太による「HANA GRAPHIC ART」への思いや手法についての説明、台湾茶の聖地で日本のお茶と台湾茶の文化交流をテーマにゲストをお迎えいたします。すでに日本国内において「HANA GRAPHIC ART」とのコラボレーションを行っ

ているアパレルブランド Viaggio Blu（株式会社ジャバコーポレーション）、インテリアメーカー 株式会社サンゲツによる 2025 年秋に発表となる新たなコラボ商品の魅力もご紹介いたします。

<HANA GRAPHIC ART とは>

川崎景太が花や植物と関わる長年の経験を経て、ただの写真作品ではなく、立体的に咲き誇る花々の美の本質を、いかにしてフラットな平面上の二次元世界に再現し伝えることが出来るか、という考えのもとに独自の技法により生まれたものです。

「HANA GRAPHIC ART」は、眼がとらえ、心で感じたままのあのみずみずしい「生命の輝き」と、消えゆくからこそ愛おしい「一瞬の美」のハーモニーを抽象絵画のような画面のなかに、時を超えて半永久的に封じ込めた花アートです。



<川崎景太の個展への思い>

「命を宿したリアルな花の魅力を最大限引き出し、平面に息づく花として表現することはできないか」という思いから、「HANA GRAPHIC ART」を創り出しました。

そこにはフラワーデザイン作品を単に撮影して、二次元世界に押し込めるのではなく、絵画的な美をもつ世界観を最も重視しています。

日本の伝統文化にもフィーチャーし、1500 年の歴史をもつ越前和紙や、無形文化財の縁付け金箔（金沢）や現在、ただ一人の職人だけが作ることができる貴重なプラチナ箔を使用したパネルアートです。生活空間にアートを取り入れていた日本の文化の象徴である屏風の世界に「HANA GRAPHIC ART」を合わせ、工芸品をアートに昇華する取り組みにもチャレンジしています。

「HANA GRAPHIC ART」を通じて、花の魅力を思いのままに想像し楽しんでいただきたいと思います。

<HANA GRAPHIC ART -Two dimensional Art of Flowers- 展示会詳細>

会場：新芳春茶行（台湾台北市）*1

住所：103 台湾台北市大同區民生西路 309 號

日時：7 月 2 日（水曜日）～13 日（日曜日）10:00～18:00

※月曜、火曜は休館

入場料：無料

展示点数：15 点

***1 新芳春茶行**

台北中心部の大稻埕（Dadaocheng）と呼ばれる地域で、かつて茶屋兼住居として使用され、台湾茶の歴史を伝えると共に、台湾と西洋の混在する建築様式が国境を越えた交流を物語る歴史的建造物

<台湾メディアと関係者に向けてのレセプションについて>

- ・対象：台湾メディアと事前招待者
- ・日時：2025 年 7 月 4 日（金）17:00～17:30?
- ・場所：新芳春茶行（台湾台北市）103 台湾台北市大同區民生西路 309 號

① 川崎景太本人による「HANA GRAPHIC ART」への思い

② デモンストレーション

③ 台湾茶の聖地で日本のお茶と台湾茶の文化交流をテーマに、鹿児島堀口製茶有限会社の協力のもと展示アートをイメージしたオリジナルフレーバー茶を提供

鹿児島堀口製茶 HP <https://horiguchi-tea.sakura.ne.jp/new/>

④ 日本国内において「HANA GRAPHIC ART」とのコラボレーションを行っている
アパレルブランドの ViaggioBlu（株式会社ジャヴァコーポレーション）及び、2025 年秋発表の株式会社サンゲツとのコラボレーションで生まれた HANA GRAPHIC ART を使った新商品（壁紙）の展示

※コラボレーションにご興味がある企業様は、info@ktion.co.jp まで

会場では、ピアニスト川崎ろまん*2 による台湾茶と日本茶の香りからイメージして作られた「音で奏でるお茶の香りの世界」が BGM として流れる。

また川崎景太のデモンストレーションでは、即興演奏でフラワーアートと音楽のコラボステージをお楽しみいただけます。

***2 ピアニスト川崎ろまん**

鹿児島県出身。15 歳の時、YAMAHA JUNIOR ORIGINAL CONCERT 全国大会で川上社長賞受賞。

フィリピン大統領邸、シンガポール、メキシコで演奏。

国立音楽大学ピアノ科を卒業後、女性 Keyboardgroup「COSMOS」のピアニスト&作曲家としてデビュー。現在は AOIHOSHI の作編曲・キーボディストとして活動中。

<川崎景太プロフィール>



東京生まれ。1982 年、カリフォルニア芸術工芸大学卒業。
メディアや展覧会などで、既存のアレンジメントの常識を打ち破る斬新な作品を次々と発表し、現代フラワーデザイン界を牽引。
2006 年から 2013 年まで、フラワーデザインのパイオニアである「マミフラワーデザインスクール」の主宰を務め、後進の育成にも力を注ぐ。

2014 年、アーティストとしての活動にいつそう注力すべく、オリジナルブランド「Keita」を立ちあげる。アパレル・建築・インテリアなど、さまざまなジャンルにおいて、暮らしに息づく「新・花文化」を提唱し、花や植物をテーマとするクリエイションを通じて「生きとし生けるものの大切さ」を伝える独自のスタイルを確立。
多彩な表情を持つ作品の数々には「生きものとしての植物」という一貫した視点が通底し、現代社会に向けて「共生・共感」というテーマを投げかけている。

【2015 年以降の主な経歴】

- ・ 2015 年 書籍「FORMIDABLE FLORISTS」(ベルギー)にて世界のフラワーアーティスト 27 人の 1 人に選ばれる。
- ・ 2017 年 Goyang(韓国)で開催された～世界のフラワーアーティストブースデザイン～の審査員を務める。
- ・ 2023 年 国立新美術館「21 世紀アートボーダーレス展「Aurora」にて招待作家として参加。RINKA の新作となる屏風 2 点を発表。

フラワーアーティスト川崎景太 HP : <https://keitakawasaki.net/>

株式会社ケーション 東京都大田区山王 2-8-7

TEL: 03-6429-7257

担当: 川崎ろまん 携帯 090-8809-5079

メールアドレス: roman@ktion.co.jp